



【R4】 「わかる やりきる 助けあう 陽南中学校」

陽南中学校 P T A : 西脇 健・石川 宗一郎・水野 公美・脇田 千香子・福島 泰代・遠藤 麻美・古澤 静枝・小里 真理華・泉 早苗
 久保 美香・嶋海 裕美子・大熊 めぐみ・大野 愛・岡田 直樹・河合 伸郎・水野 勇
 陽南中学校 先 生 : 鬼頭 立城・葛西 龍朗・堀江 尚暢・福安 知子・今津 伸也・中瀬 浩季・片山 大樹・塚本 隼平・大前 剛士

1.はじめに

陽南中学校は、岐阜市の中心にあるJR岐阜駅に隣接する校区として、近隣には高等学校や美術館・図書館・科学館のある文教地区に位置しています。昭和56年4月に開校し、令和4年度で創立42年目となる、全校生徒510名の中規模の学校です。

特徴として、加納西小地区と三里小地区の2地区があり、地域の連合会が2地区に分かれています。そのため、地域の行事、祭り等が2つあり、その事により、PTA執行役員、各専門委員長、各専門委員も地域毎として1/2ずつ選出しております。また、PTA会長もこの2つの地域から隔年の交互で決めて、基本的には単年度で会長、副会長、専門委員長、委員を入れ替わるようになっていきます。



2.各委員会活動(コロナ禍でカイゼンしたこと)



【**広報委員会**】 広報紙「陽南」を年に3回発行し、PTA活動をより知ってもらえるような紙面を作ることを心がけ活動しています。保護者はもちろん、地域にも幅広く発信し、PTA活動に関心を持ってもらえるよう、学校生活や地域活動での子どもたちの生き生きとした姿を、親の目線から発信することや、知られていないPTA活動などを伝えることで、より多くの方に興味を持って読んでもらえるように工夫をしています。しかし、コロナ禍で掲載できる行事が減り、頭を悩ませる事もありましたが、新たな視点に目を向け新しい特集を記事にすることに挑戦しました。制限の中でやれないことに目を向けるのではなく出来ること、**コロナ禍だからこそ始まったこと(できたこと)に注目し**、前向きに活動に取り組みました。

【**保健体育委員会**】 『みんなで育てよう健やかな体と心〜コロナに負けない笑顔で免疫力アップ〜』をスローガンに活動を行っています。コロナ禍前は、年間3回の保健体育通信発行と先生方との球技大会を年1回開催していました。しかし、コロナ禍で『集まる』という活動ができず、先生方との交流や、保体通信の作成すらできませんでした。今年度は、まず、保体通信の発行をしっかり行い、徐々にコロナ前の活動に戻していこうと考え、発行目的を「①子どもたちに楽しく読んでもらえるように」「②友達や先生、家族も一緒に見てもらえるように」「③活動自体も楽しく出来るように」「④『コロナに負けない笑顔で免疫力アップ』につながるように」としました。そこで考えたのが『脳トレ通信』です。季節的に必要な記事も載せ、脳トレをメインとして掲載しました。保体通信を配ったら、子どもたちはすぐに取り組みはじめ、班で相談したりおうちでご家族と取り組んだりして回答していました。今の子どもたちは、インターネットなどを使ってすぐに答えを出してしまうのではと不安もありましたが、**『自分たちで考えていましたよ』**とうれいしお声をいただきました。



【**成人教育委員会**】 コロナ禍前の活動は、講話やヨガ芸術鑑賞会など年に3回開催していました。芸術鑑賞会では、岐阜聖徳学園高校の太鼓部や長良高校のコーラス部、岐阜農林高校の演劇部を招いて、高校生との交流をしてきました。中学から高校へと進学していった高校生の素晴らしい活動発表を見て、生徒は夢を膨らませ、保護者は子どもの成長に夢を膨らませる良い機会となっていました。今年度は、自粛だけではなく、ウィズコロナとしてどのような活動ができるか考えました。**『リアルタイムで、時間は共有したい!』**という願いのもと、岐阜市から貸与されているタブレットを使い、『親子講習会』を開催しました。岐阜市では、4月からプラスチックゴミの分別が始まりましたが、ゴミの分別方法は初めてのことで、疑問も多くありました。そこで、講師を招いて詳しく教えていただき、家庭で話し合うきっかけとなればと考え、企画を始めました。学校で講習を受ける人を執行委委員会と成人委員会のメンバーに限定し、PTA会員は自宅で、子どもと一緒に**リモート参加していただくことで感染対策**としました。結果は60人ほどの参加者がいましたが、陽南中のPTA会員は475人います。まだまだ、参加者を増やすことができると思います。今後も活動ができるようになることを願いながら、前向きに楽しみ、成人教育学級を行っていきます。

【**学年代表委員会**】 現在のコロナ禍において、めげることなく3年ぶりにリサイクルバザーを開催しました。リサイクルバザーとは、不要になった制服や体操服、鞆などを卒業生から回収し、後輩たちに安価で提供するイベントです。前回の開催から2年間も空いたため、断捨離するかのよう過去の実績をリセットしつつ、コロナ対策も考慮する必要がありました。「いかに効率よく、いかに各種リスクを減らすか」を念頭において準備を進めました。不安だらけの開催でしたが大きな混乱もなく、参加した保護者の皆様より、**『ありがとうございます』**の感謝の言葉をたくさん頂きました。



3.おわりに

陽南中PTAは、学校の教育目標でもある「わかる やりきる 助けあう 陽南中学校」をPTAの今年度のテーマとして、保護者の皆さんに、まずは活動を理解してもらえるよう努力してきました。コロナ禍での活動の制限は受けながらも、今できることをやりきるということにこだわり、皆で助け合う精神で、これまでの発表のとおり各種活動に取り組んできました。今後も地域の皆様のご理解とご協力を得ながら学校との連携を蜜にして、子どもたちのためにも、よりよいPTA活動を展開していけるよう会員一同努力していきます。